



みなみつ子集会にて

11月21日の3, 4校時、みなみつ子集会を開きました。集会では、人権学習で学んだことを各学年が発表しました。ねらいは、それぞれの学びを南小全員で共有し、南小の児童の絆を深め、いじめやつらい思いをする人をなくしていくこうとするものです。

1年生は、自分の気持ちを伝えることの大切さ。2年生は、暮らしを支えるおうちの人の仕事を調べて感じたこと。3年生は、住んでいるところで差別することのおかしさから学んだこと。4年生は、おかしいと思うことに立ち向かうこと。5年生は、水俣病問題から考えた自分のこと。6年生は、本物のリーダーとは…、平和学習から学んだことを発表しました。

どの学年もとてもよい発表ができました。また、発表に対してのお返しもしっかりとしていて、1年生の発表に対して6年生が学んだことを素直に発表するなど、とてもよい雰囲気でした。



発表の後にはたくさんのお返しがありました

南小ならではの一コマです。人権学習の目標として、「豊かな人権感覚を育てる」があります。友だちや周りの人の思いを、自分のこととして受け入れ、自分も他の人も大切な存在であることを理解していきます。

1年生が、自分のことをわかって欲しくて気持ちを手紙に書いて伝え、そのお返しをもらうという挑戦を発表しました。集会の中でも、みんながどうお返しをしてくれるのか心配していましたが、自分のことを理解してくれ、今まで以上に仲良く過ごすことができています。子どもたちにとって、この発表がとても刺激になったようです。今後も南小みんなで頑張ります。



2年生おうちの人から学んだことを発表

第10回鼻ぐり井手祭 児童が活躍しました

11月18日(日)に第10回鼻ぐり井手祭が行われました。このお祭りの中で、これまで学んだことを子どもたちが発表しました。

開会行事の後、馬場楠の獅子舞に、6年生の川端桜空さんをはじめ、南小の5人の児童が参加しました。11月に入つて週3回午後8時から行われていた練習に毎回参加していただけあって、優雅な舞を披露しました。



親子での共演もありました

3, 4年生は、音楽劇「後の世のために」を上演しました。町の音楽会で公演し、自信をつけていましたが、いつもと勝手が違つて外のステージでの発表となり戸惑いもあったかもしれません。しかし、大勢の観衆に向け堂々と演技をし、演奏することができました。



劇の最後の合奏・合唱

5, 6年生は、「よさこいソーラン」に挑戦しました。菊陽学園から踊りと大漁旗の応援をいただきながらの踊りでした。披露するのは運動会以来となりましたが、踊りのキレはそれ以上で、最後の決めのポーズでは、元気な笑顔でアピールしていました。



菊陽ソーランを笑顔で頑張りました

この後は、ボランティアガイドの準備と平行して、手際よく5年生は共同募金、6年生はお芋と自作のリースの販売に取りかかっていました。



一生懸命ガイドしました

いよいよ、11時25分から3, 4年生はボランティアガイドのはじまりです。3年生は初めてのガイドなのでドキドキでしたが、来場者に向け一生懸命ガイドを頑張っていました。

12時半には、5, 6年生もガイドを終えました。6年生は、これが最後のガイドになるの寂しそうな様子もありましたが、地域の方に支えられ、地域を学び、自分たちのふるさとに誇りを持つことができたことでしょう。一生の宝物にして欲しいと思います。

地域の皆様にも、たくさん支えていただき、改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。



目標を上回る募金に感謝です



売り上げは卒業記念品代に

まつぼり風の夢